

研歯科クリニック 歯科衛生士 加納ひとみ

PHIJの講師の先生方、歯科衛生士の方々、築山歯科のスタッフの皆様

そして、共に学んだ先生、歯科衛生士の皆様

セミナーをサポートして下さった全ての皆様。

10か月間大変お世話になりました。ありがとうございました。

皆様との素晴らしい出逢いと学びに感謝しております。PHIJのセミナーでは、病因論から始まり初期治療など技術的なことまで、様々なことを教えていただきました。

その中でも、私が一番考えることになったのは「歯科衛生士として、何をしたいのか。どうありたいのか。私の思い、願いは何だろう。なぜ、何のためにメンテナンスをしているのだろう。」ということでした。

そもそも、私は「MTMとは何か。なぜ、何のために行うのか。」それを理解していませんでした。どこか現実的ではない、理想論のように思っていたかもしれません。

ここには理想で終わらせず、信念をもち、それを実践されている先生、歯科衛生士の方々がいました。

私は何がしたいのか考えました。私には誤嚥性肺炎になってしまった祖父と、総義歯で食事困っていた祖母がいました。二人とも亡くなってしまった今、歯科衛生士であるにも関わらず、何の力にもなれなかった自分を悔しく悲しく情けなく思います。まだまだ二人と元気に過ごしたかったです。私はまだ自分の周りからしか見ることができず、恥ずかしいですが、自分の大切な人が健康で幸せでいてほしいと心から願います。私だけでなく誰にも大切な人はいて、その誰かも別の誰かにとってはそうであって。そういう方々が皆、健康でいれたらどんなに良いだろうと思いました。

私は歯科衛生士であり、歯科医療に携わることでそれを実現できることを学びました。

コースは終了しましたが、私にとってまだまだスタート地点に立ったばかりです。

今、ようやく「WHYから始めよ！」を読み始めています。そして、6月にOPセミナーへ参加します。

PHIJは私の歯科衛生士としての人生を変えるきっかけを下さいました。

これから歯科衛生士として誇れるよう、学び成長し続けていきたいと思います。

築山先生は、初めてお会いした際に「加納さん、不可能を可能にしてください」と声をかけて下さいました。私が不可能と決めつけず、名の通り可能にしていきます。

そして、そうなるまで再び皆様にお会いしたいと思います。本当にありがとうございました。